

# 2025年 経営コンサルタントの倒産、 14件で過去最多を更新

小規模倒産が大半を占める

## 九州・沖縄「経営コンサルティング業界」の倒産動向(2025年)

### SUMMARY

2025年(1-12月)の経営コンサルタント業の倒産件数は14件となり、2000年度以降の集計で過去最多を更新した。負債総額は3億2200万円。小規模倒産が目立つ。

帝国データバンク福岡支店は、九州・沖縄地区の「経営コンサルタント業」の倒産発生状況について調査・分析を行った

集計期間:2000年1月1日～2025年12月31日まで

集計対象:負債1,000万円以上・法的整理による倒産



本件照会先

石倉 達也 (調査担当)

帝国データバンク

福岡支店情報部

092-738-7779(直通)

tdb.fukuoka@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/01/19

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

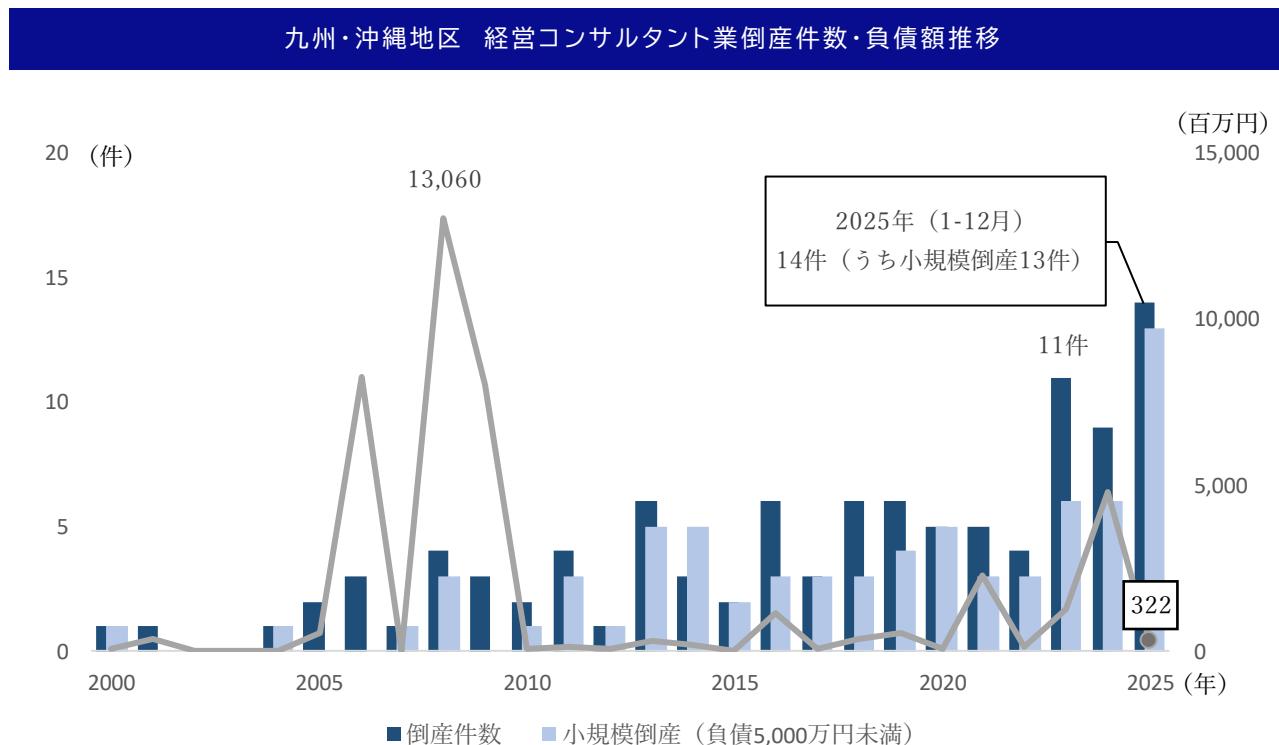
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## 2025年は14件、過去最多を更新も小規模倒産が目立つ

2025年(1-12月)の経営コンサルタント業の倒産は14件発生。集計基準を変更した2000年以降の集計で最も多かった2023年の11件を上回り、過去最多を更新した。態様別では、14件すべてが破産、県別では福岡が10件で最多。そのほか、熊本と沖縄で各2件発生した。負債総額は3億2200万円にとどまり、負債額が5000万円未満の倒産が13件発生と小規模倒産が目立つ。また、業歴別では、創業・設立から10年末満の倒産が9件発生し、半数超を占めるなど比較的業歴の浅い事業者の倒産が目立っている。

経営コンサルタント業は、設備投資が軽微で初期投資が比較的低く抑えられるため参入障壁が低く、新規事業者が市場参入しやすい。また近年では、証券会社や銀行といった他業種も、取引先のコンサルティング業務に携わるなど経営の多角化を図っており、競合が激化している。同業他社との差別化を図ることが難しく、受注量や受注単価が伸び悩むなか、広告宣伝やセミナー運営などに掛かるコストは上昇していき、経営環境が厳しくなっている様子がうかがえる。

今後は、生成AIなどの台頭もあり、単純な資料作成や申請業務といった経営コンサルタント業者が担っていた業務をAIが担い、より一層の競合激化が考えられる。企業の存続をかけた競争が激しくなるなか、同業他社やAIとの差別化、多様化する顧客のニーズに対応することが、今後求められていくだろう。



2000年以降 負債10億円以上の倒産企業

年月	企業名	所在地	負債額
2006年3月	株式会社エヌシーマネージメント	熊本	75億円
2008年4月	エフ・エー・シー株式会社	福岡	130億円
2009年1月	株式会社サイバーファーム	沖縄	79億円
2021年8月	株式会社ロジック	熊本	15億4000万円
2024年6月	株式会社S Cホールディングス	福岡	43億4100万円